

【核融合分野人材育成に関するアンケート調査の依頼】

下記の質問に関して、所定の欄に回答頂き、平成27年10月31日までに核融合ネットワーク事務局 (f-net-jimu@nifs.ac.jp) へ返送願います。

記入上の注意

研究グループ(研究所、センター、講座、研究室など、規模の大小は問いません)ごとにまとめてご回答下さい。
(例えば、△△センター、プラズマ物理講座、山田研究室、など)

【研究グループ(研究所、センター、講座、研究室など)へのアンケート用紙】

- (1) 研究グループの構成員全員のお名前 (平成27年4月1日現在) - 学生以外
(記名調査とするのは、回答者の重複を避けるためで、個人情報の守秘には十分注意致します。)
(注意: 1. 下記の欄で足りない場合は、**追加行数を増やして**ご記入下さい。
2. 差し支えなければ**メールアドレス**もご記入下さい。

構成員全員:

お名前	e-mail	お名前	e-mail	お名前	e-mail	お名前	e-mail	お名前	e-mail

(2) 研究グループの構成

(2)-1 研究グループの構成教員数

【現在】(平成27年4月1日)

教授 人 准教授 人 講師 人 助教 人 (現員中、テニュアトラック制度による採用数) 人
 特任教員等 人 PD 人 その他 人 (その他には研究職に相当する人員をお答え下さい: 具体的な職名:)

25-29歳 人 30-34歳 人 35-39歳 人 40-44歳 人
 45-49歳 人 50-54歳 人 55-59歳 人 60歳以上 人

【約10年前】

教授 人 准(助)教授 人 講師 人 助教(手) 人
 特任教員等 人 PD 人 その他 人 (その他には研究職に相当する人員をお答え下さい: 具体的な職名:)

25-29歳 人 30-34歳 人 35-39歳 人 40-44歳 人
 45-49歳 人 50-54歳 人 55-59歳 人 60歳以上 人

【着任前の研究分野】

(研究グループの構成員が現在の職に着任する前(場合によっては学生時代も含む)に専門としていた分野をお答え下さい。
複数(経験したことがある分野全て)記入して頂いて結構です。

プラズマ・核融合分野
 プラズマ基礎 人 プラズマ応用 人
 核融合プラズマ 人 核融合炉工学 人

プラズマ・核融合以外の分野
 物理系 人 機械系 人
 電気系 人 化学系 人
 原子力系 人 材料系 人
 その他の分野 人
 その他の場合、具体的な分野をすべてお答え下さい。

【現在の研究分野】

(注: 主たる研究分野を一つ選んで記入してください。)

プラズマ・核融合分野
 プラズマ基礎 人
 プラズマ応用 人
 (以下核融合関連)
 超伝導コイル開発 人
 ブランケット開発 人
 ダイバータ開発 人
 加熱・電流駆動システム開発 人
 理論・計算機シミュレーション研究 人
 磁場閉じ込め(炉心)プラズマ研究 人
 計測・制御開発 人
 核融合燃料システム研究 人
 核融合材料開発または規格・基準策定 人
 核融合炉の安全性と安全研究 人
 稼働率と保守性 人
 原型炉概念設計 人
 レーザードライバー開発 人
 爆縮プラズマ研究 人
 ターゲット開発 人
 その他の場合、具体的な分野をすべてお答え下さい。

プラズマ・核融合以外の分野
 物理系 人 機械系 人
 電気系 人 化学系 人
 原子力系 人 材料系 人
 その他の分野 人
 その他の場合、具体的な分野をすべてお答え下さい。

(2)-2 所属学会(平成27年4月1日現在) - 研究グループ内の延べ人数

プラズマ・核融合 人 原子力学会 人
 物理学学会 人 応用物理学学会 人
 レーザー学会 人 機械学会 人
 電気学会 人 金属学会 人
 化学学会 人 低温工学・超電導学会 人
 真空学会 人 その他 人
 その他の場合、具体的な学会名をすべてお答え下さい。

(2)-3 学生数(平成27年4月1日現在)

学部(卒研究生): 日本人男性 人 女性 人 留学生男性 人 (国籍:) 女性 人 (国籍:)
 学部生の所属学科 理学部 人 (学科名:)
 工学部 人 (学科名:)
 その他 人 (学部・学科名:)
 ※理工学部などの場合は、**学科名等により、理学または工学の近い方で、ご記入下さい**

修士課程: 日本人男性 人 女性 人 留学生男性 人 (国籍:) 女性 人 (国籍:)
 修士学生の所属学科理学研究科 人 (専攻名:)

工学研究科 人 (専攻名:)
 その他 人 (研究科・専攻名:)

博士課程: 日本人男性 人 女性 人 留学生男性 人 (国籍:) 女性 人 (国籍:)
 博士学生の所属学科 理学研究科 人 (専攻名:)
 工学研究科 人 (専攻名:)
 その他 人 (研究科・専攻名:)

(2) - 4 核融合研究に対するウェイト (あてはまる数値の右欄に○印をお願いします。核融合研究とは【現在の研究分野】の核融合分野に対応します。)

(注: 研究グループの研究活動において、核融合研究が占める割合を主観的に結構ですのでご回答下さい。)

【現在】

80%以上 79-60% 59-40% 39-20% 20%未満

【約10年前】

80%以上 79-60% 59-40% 39-20% 20%未満

【現在の核融合以外の研究分野をご記入下さい。(複数ある場合は全てご記入下さい)】

(3) 博士および修士の取得者数の動向

【修士課程学生の動向】

日本人学生	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)
修士課程修了生の就職先	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人
	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人
	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人
	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人
	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人
	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人
	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人
	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人
C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	

留学生	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	留学生	人(男) 人(女)	留学生	人(男) 人(女)	留学生	人(男) 人(女)	留学生	人(男) 人(女)	留学生	人(男) 人(女)	留学生	人(男) 人(女)	留学生	人(男) 人(女)	留学生	人(男) 人(女)	留学生	人(男) 人(女)
修士課程修了生の就職先	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人
	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人
	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人
	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人
	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人
	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人
	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人
	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人
C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	
D	人	D	人	D	人	D	人	D	人	D	人	D	人	D	人	D	人	

(就職先は以下のカテゴリに分類して回答下さい。)

- A: 核融合関連の研究職 (博士課程進学やPDを含む)
- B: 原子力関係の研究職・公的機関
- C1: 民間企業 (核融合関連)
- C2: 民間企業 (原子力関係)
- C3: 民間企業 (重電, 産業用電気機器, 電力, プラント関係)
- C4: 民間企業 (総合電機, 家電関係)
- C5: 民間企業 (自動車, 輸送機器関係)
- C6: 民間企業 (情報, ソフトウェア関係)
- C7: その他
- D: 帰国

C7のその他について、調査可能な範囲で結構です下記にご記入ください。

--

Dに関して帰国後の職種が分かる場合はご記入ください

--

【博士課程学生の動向】

日本人学生	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)	日本人	人(男) 人(女)
博士課程修了生の就職先	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人	A	人
	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人	B	人
	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人	C1	人
	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人	C2	人
	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人	C3	人
	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人	C4	人
	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人	C5	人
	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人	C6	人
C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	C7	人	

(就職先は以下のカテゴリに分類して回答下さい。)

- A: 核融合関連の研究職 (博士課程進学やPDを含む)
- B: 原子力関係の研究職・公的機関
- C1: 民間企業 (核融合関連)
- C2: 民間企業 (原子力関係)
- C3: 民間企業 (重電, 産業用電気機器, 電力, プラント関係)
- C4: 民間企業 (総合電機, 家電関係)
- C5: 民間企業 (自動車, 輸送機器関係)
- C6: 民間企業 (情報, ソフトウェア関係)
- C7: その他
- D: 帰国

C7のその他について、調査可能な範囲で結構です下記にご記入ください。

--

Dに関して帰国後の職種が分かる場合はご記入ください

--

(4) 核融合に関連する教育プログラム（講義や演習、実験など）の実態

（注：核融合に関連した教育の一環として教えている授業・演習・実験などについてお答え下さい。例えば、プラズマ物理学や核融合炉工学などに限らず、電磁気・流体力学・材料科学なども核融合に関連した内容を含む場合はご記入下さい。）

学部の科目数 コマ
 具体的な講義名：

 演習や実験の実態と特徴：

大学院の科目数 コマ
 具体的な講義名：

 演習や実験の実態と特徴：

【教育プログラムに対する問題点やご意見】

現在の教育プログラムの問題点やご意見をご自由に記入下さい。

【海外との交流】

・学生の海外派遣（のべ人数）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
・短期派遣（国際会議等）	人	人	人	人	人	人	人	人	人
・長期派遣（1ヶ月以上）	人	人	人	人	人	人	人	人	人

・学生の海外派遣に関する課題・問題点を具体的にお聞かせ下さい。

(5) 研究論文のカテゴリ

【論文の投稿数と投稿分野】

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
核融合プラズマ	編	編	編	編	編	編	編	編	編
核融合炉工学	編	編	編	編	編	編	編	編	編
プラズマ基礎	編	編	編	編	編	編	編	編	編
プラズマ応用	編	編	編	編	編	編	編	編	編
その他の分野	編	編	編	編	編	編	編	編	編

（注1）研究グループのメンバー（学生も含む）が主体的な論文（筆頭著者）のみをまとめてください。

（注2）査読付き論文に限ってください。

その他の分野の論文に関して、分野をご記入下さい。

(6) 自由記載欄（アンケートに関するコメント、核融合教育等の特別な取り組み事例、核融合研究推進に関するご意見など 自由にご意見をご記入ください。）

(7) 核融合関連分野の採用実態

【大学、核融合科学研究所】

		平成18年度				平成19年度				平成20年度				平成21年度				平成22年度			
採用総数	内	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	教授	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	准教授	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	講師	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	助教	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	PD相当	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	技術職員	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
特任教員	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	

		平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度							
採用総数	内	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	教授	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	准教授	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	講師	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	助教	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	PD相当	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	技術職員	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
特任教員	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	

注意：内部は内部昇格、外部は外部からの採用を表します。助教、PD相当職の場合、同じ大学（核融合研であれば総研大）から採用された場合、内部昇格としてください。

【日本原子力研究開発機構】

		平成18年度				平成19年度				平成20年度				平成21年度				平成22年度			
採用総数	内	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	正規職員	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	任期付職員	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	博士研究員	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人

		平成23年度				平成24年度				平成25年度				平成26年度							
採用総数	内	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	正規職員	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	任期付職員	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部
	博士研究員	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人	外部	人

核融合分野の人材育成、人の流動性など、自由にご意見を記載してください

(8) 日欧で進めている核融合研究開発の幅広いアプローチ活動（BA活動）に参加している研究者数 ー研究グループ内の延べ人数

 人

以上です。ご協力有難うございました。